

「ありがとう」の反意語って？



ありがとうの反対語を知っていますか。インターネットにその答えが載っていました。その答えは「あたりまえ」

「ありがとう」は漢字で書くと「有難う」「有難(ありがた)し」という意味です。あることが難しい、まれである。めったにない事にめぐりあう。すなわち、「奇跡」ということです。奇跡の反対は、「当然」とか「当たり前」 私たちは、毎日起こる出来事を、当たり前だと思って過ごしがちです。歩けるのが、当たり前。目が見え、耳が聞こえるのが、当たり前。手足が動くのが、当たり前。毎朝目覚めるのが、当たり前。食事ができるのが、当たり前。息ができるのが、当たり前。友達といつも会えるのが、当たり前。

太陽が毎朝昇るのが、当たり前。生まれてきたのが、当たり前。家族が毎日帰ってくるのが、当たり前。そして…生きているのが、当たり前。また、ある夫婦の話も載っていました。

晩酌の時、いつも無口の夫が、「ちょっと、お酌してくれないか？」と珍しく妻に言った。台所の片付けをしていた妻は、「今、忙しいから自分でやって」と答えた。夫は少し寂しそうだったが、手酌で酒をついだ。その、2～3時間後、夫は急に倒れ、救急車で病院に運ばれ、帰らぬ人となってしまった。それから、妻は、何故あの時、夫にお酌をしてあげなかったのかと、ずっと悔やんだという。あの時何故、もっと、優しい言葉で、こぼれるような笑顔で、感謝の言葉で、接することができなかつたのか…誰しも、今日と同じ日が明日も繰り返されると思う。今日、誰かと出逢い、話し、笑い、食事をして、仕事ができる。こんな当たり前だと思えることが、本当は奇跡の連続なのだ。



「有ること難し」生きて、出逢う、という奇跡の連続に、「ありがとう」と言える人間になりたい。沢山の奇跡が重なり合って生きている毎日がとても有難い毎日なのだ気付ける人間になりたい。明日の保証はどこにもありませんし、誰にも分かりません。明日、大切な人と離れてしまう可能性だってあるかもしれません。毎日が奇跡の連続なんだって思ったら、大切な家族、仲間、身の回りで関わっている全ての人をもっともっと大切にしたいと強く感じました。一瞬一瞬を、大切に生きていきたいものです。

大地震後の復興に向けて！

中学部の生徒会が中心になって、ネパール大地震に対する募金活動を行っています。先週から活動を始めました。子どもたちの自主的な思いから、まずは募金活動を始めていますが、まだまだ目標額に遠く及びません。機会がございましたらご協力をお願いします。今後、ネパールにあるカトマンズ補習授業校への激励文の送付も計画しているみたいです。子どもたちの思いがネパールに届き、一日も早いネパールの復興を祈念いたします。

5月25日(月)はメモリアル・デーです。

5月25日(月)は、アメリカの祝日であるメモリアル・デーです。日本語で言うと戦没将兵追悼記念日です。戦争で亡くなった人や関係のある故人を偲ぶ日です。アラモアナ・ビーチでは、ランタン・フロート・フェスティバルも行われます。この祝日にもなつて、事務所は、5月26日(火)は閉鎖となります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。